



「第2回セレクトティブコンサート」を終えて

実行委員 熊本 陵平

本コンサートシリーズの企画において、かねてより思い描いていた「小さなコンサートだけどコアで内容の濃いもの」という形にようやく近づけることができ、企画者として達成感を覚えた今回のコンサートでした。

吉田会長、久保副会長、吉岡事務局長の三役を初め、出品会員の皆様からは多大なご協力を頂いたお蔭で無事に終演することができました。誠にありがとうございました。

また、今回は会場を貸して頂きました日本楽芸社の寺島様には当日のお手伝いから打ち上げ場所の手配まで様々お世話していただきました。その他今回のコンサートに様々な方々が有形無形のご協力をくださいました。本当にありがとうございました。

つくづくコンサートは一人でできるものではないとは思っておりましたが、本当に協力しあって作るコンサートは素晴らしいものだと思います。

コンサートの企画者として、いつも一番念頭にあるのは集客という課題です。集客数が良ければ、収益も良い。いつしかそれが先行して企画の内容が曲げられていないかと考えるようになりました。

かつて約1,000人収容のホールに満席に近い状態で集客された現代音楽のコンサートを聴きに伺ったことがあります。その際に少し悲しく感じたのは、終演後にあちらこちらで捨てられているチラシやプログラムを見たことでした。大半の来場された方々がお付き合いで来られた方ばかりのようで、会場を出るときにあちらこちらで聞こえてきた言葉が、「よく分からなかった」でした。

これではいくら満席にしても継続できないのではないかと思います。大切なことはできるだけ多くの情熱的なファンを増やすこと。そのためには本当に聴きたいひとが聴きにくるコンサートを作り上げることが大切だと思います。

ダイレクトにそうしたお客様に繋がるために、今回は初めてオンラインチケット販売という手段を考えました。初めてのことで様々な小さな事故はありましたが、コンサート開催場所である福岡に限らず、国内外様々な場所からコンサートをご視聴頂けることは当協会にとっても認知を広げるための有効なソリューションだと考えています。

今回使用しましたZAIKOのアカウントは協会内のイベントにおいては共有できますので、是非ご活用頂けますと幸いです。

集客の課題に関しては企画段階ですっと考えておりましたが、最終的に集客数に縛られてやりたいことができなくなるよりも、多少出品会員の皆様にご負担頂いてもやりたいことができる企画を優先させることにしました。出品料と演奏費によって賄う、言わば以前のスプリングコンサート形式です。

ただ、お気づきの方もいらしたと思いますが、以前のスプリングコンサートに比べ、出品料も演奏費も安くしました。そのうえで演奏費がそのまま演奏者のギャラに回るのではなく、いったん運営費用としてプールさせておいて、各演奏者には出品者の人数によるのではなく、最初から適正な報酬を準備することで運営側も出品者側も演奏者側もオールウィンな状況を作ることができて、安堵しました。

今回の工夫はこうした収益関係だけでなく、演目にも及んでいました。演奏者をフューチャーしたコンサートだからこそ、会員の作品を中心に、それだけに留まらず、バッハやモーツァルトなどの名作を取り上げることによって、現代の作曲家たちとの違いや共通点も聴けるのではないかと思います。

「よくわからなかった」で終わらせるのではなく、「よくわからなかったけど、なにか凄かった!」という感想を今回のコンサートで多くのお客様から頂きました。このことの積み重ねが必要だと感じました。

良い演奏とはなにか。突き詰めて言えば、それは作曲家が書いた楽譜に命を吹き込み、生きた「作品」にすることだと思います。たとえ正しくとも、「作品」として成立していなければ、良い演奏とは言えません。そういう意味において、今回のヴァイオリニスト辺見康孝さんとピアニストの坂口笑奈さんはとても素晴らしい演奏をされたのではないかと感じております。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、本コンサートでの演奏動画が近日中に九州作曲家協会の YouTube チャンネルにてご視聴頂けるようになります。会員の皆様には是非ご視聴頂き、次回のセレクトティブコンサートにご出品・ご協力くださると嬉しいです。



「第2回セレクトティブコンサート」出品者と演奏者の皆様

第2回セレクトティブコンサート

～春に想う新しき音楽のカタチ～

日本学芸社 藤崎本店ホール

2023年3月26日

§プログラム§



1. 熊本陵平「春を巡る3つのプレリュード」
ピアノ 熊本陵平（自作自演）

2. 黒田寛賢
「ピアノとヴァイオリンによる<祝辞>」
ヴァイオリン 辺見康孝 ピアノ 坂口芙奈

3. J.S.バッハ
「無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番 BWV1001
より<アダージョとフーガ>」
ヴァイオリン 辺見康孝

4. 齊藤 武「Paramita Partita for solo Violin」
2023 初演 ヴァイオリン 辺見康孝

5. 石田匡志「春2020」（2023 初演）
ピアノ 坂口芙奈



6. 安川 徹
「Autumn Days Violin and Piano」
ヴァイオリン 辺見康孝 ピアノ 坂口芙奈

7. W.A.モーツァルト
「ヴァイオリンソナタ第21番 短調 K.304」
ヴァイオリン 辺見康孝 ピアノ 坂口芙奈



8. 久保 禎「春嵐図（はるあらしのす）」
ピアノ 坂口芙奈

2023.3.26.(sun) 19:00～
日本学芸社 藤崎本店ホール



